

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

皆さん、こんにちわ。いよいよ秋ですね。今年の夏は暑かったですから、秋が待ち遠しい毎日でした。

さて、国会の状況はご承知のとおりです。この原稿を書いているのは九月十三日。昨日、安倍首相が辞意を表明しました。かわら版をお配りしている二十一日には、新しい首相が決まっているかもしれませんが。新しい首相と参議院第一党の民主党・小沢代表の間で、一刻も早く有意義な論戦が行われることを期待しています。

こういう折ですから、政治の基本を論ず「信なくんば立たず」という言葉について、ちよつと考えてみたいと思います。小泉首相も座右の銘としてよく引用していたこの言葉は、論語の中に出てきます。孔子の弟子である子貢が政治の要諦をたずねると、孔子は「食を足し、兵を足し、民これを信ず」と答えました。つまり、国民の食生活、安全、信頼が重要であることを説いています。

子貢は「ではその三つのうち、やむを得ずひとつを除く(捨てる)としたらどれを除きますか」と聞くと、孔子曰く「兵を去れ(捨てる)」。さらに、「なおもうひとつを除くとしたら...」と尋ねると、曰く「食を去らん。信なくんば立たず」とおっしゃいました。

つまり、国民の信頼が最も大事であり、仮に安全を守る兵や食糧を諦めてでも、国民の信頼「信」があれば政治は成り立つこと、逆に言えば、国民の「信」がなければ政治は成り立たないことを教えています。もつともなご指導です。

それでは、国民の皆さんの「信」を得るために必要なものは何か。僕自身、いつも自問自答しています。それは「正しい情報」だと思います。しかし、国会の現場で仕事をしてみると、この「正しい情報」を得るのが実に難しいことに驚きます。国会議員自身もなかなか「正しい情報」を得ら

れない日本は、いう国でしょうか。新首相の下でもでの自衛隊による洋上支援の問題がでしょう。今日朝もこの件に関し外務省、内閣府から行いました。についてはお答「ん」という回答がちよつと驚きです。政治全体が国民「信」を得られる「情報」を求めて張りります。





ったいどう

インド洋

米軍等への

議論される

13日)の

て防衛省、

らのヒアリ

か、「その件

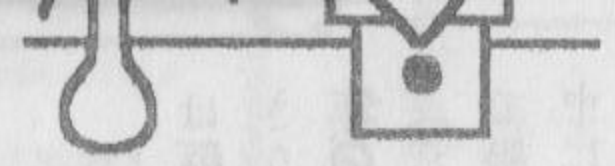
へできませ

半分以上。

の皆さんの

よう、「正し

引き続き頑



第3回 弘法さんを語る会

日時:11月23日(祝日・金)午後1~3時(予定)

※ 来月号で最終の開催時間をご案内します

テーマ:弘法大師と般若心経

場所:日泰寺周辺(来月号でご案内します)

講師:大塚耕平(かわら版執筆者)

参加お申し込み方法:来月号でご案内します

(ご参考)

第1回は平成16年12月「弘法大師の生涯」

第2回は平成17年12月「弘法大師の教えと

覚王山史跡探訪」



「信なくんば立たず」